

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立中央小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施) (％)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	38.0	32.0	24.0	6.0	0
問2	英語科の勉強は大切だ。	61.0	33.0	5.0	2.0	0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	65.0	29.0	6.0	0.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	41.0	36.0	17.0	6.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	41.0	35.0	14.0	11.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	71.0	21.0	5.0	5.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	68.0	18.0	9.0	5.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	58.0	35.0	6.0	2.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	42.0	30.0	20.0	8.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	66.8	24.8	7.0	0.7	0.4
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	63.6	20.2	12.4	3.1	0.4
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	63.1	23.9	10.7	1.2	0.9

②指導改善の具体策

【英語科】 台湾文雅小学校との交流をに行うことができた。児童が学んだ英語表現で金沢を案内するという場面で活用することができた。今後も計画的に文雅小学校との交流の設定していく。 【デジタル科】 プログラミング学習の中で自分で組んだプログラムをオクリンクプラスなどを活用して記録しておいた。お互いに記録したプログラムを学級全体や他学級に広げること、ICTを使ったプレゼン力を高めるとともに、生活に役立つプログラミングのよさを多くの児童が実感できるようにしていく。

③学校関係者評価

・英語科の勉強が大切だと考える児童の割合は高いが、教科書の英語を読んだり、書いたりすることの肯定的な回答の割合はやや低い。児童が英語を話すことに自信が持てるように、台湾以外の国の外国の方との交流を増やすとよい。 ・アルファベットを書くことができると感じている児童の割合が高い。ショートタイムの時間にアルファベットを使った活動を取り入れていくとよい。 ・深く広く学習するためにICTを使うことができると感じている児童の割合は高いが、生活の中で上手にICTを使うことができると感じている児童の割合はやや低い。デジタル・シティズンシップ教育において、児童の実態に応じて使用する教材を選択して学習を行うとよい。
--